



しばた 社協だより

「社協」は、社会福祉協議会の略称です

No.321
平成27年9月15日

編集・発行 新発田市社会福祉協議会 新発田市本町4-16-83 TEL 23-1000(代表)

私たちといっしょに作ろう。
みんなに優しい新潟を!



じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金にご協力お願いします。 www.akaihane.or.jp

社協ホームページ(PC版)が
ご覧になれます▶



ボランティアだより

No.349
平成27年9月15日

新発田市ボランティア連絡協議会登録団体
**新発田市ふれあい
推進員協議会**

の活動を紹介します!!

今回は、「新発田市ふれあい推進員協議会」さん取材しました。
平成5年に結成、22年間活動されています。主な活動は、ボランティアセンターや新発田中央地域包括支援センターからの相談を受けて、できることをしています。ゴミ出し、福祉施設のお手伝い、学校行事でのサポートなど様々です。
現在会員数は男性1名、女性10名、昨年度の活動件数は120件となっています。

活動の様子

新発田市にある福祉施設でのイベントお手伝いの活動です♪



新発田の姿でありたい

穏で心が和



【会長の島さんより】

若い時は合理的に行動していたが、今は不合理に活動している。それが高齢者にとって良いことだと思っている。いかに多く動くか、ひとつの事が終わってから次の事に移る。
“何をしにきたんだろう?”しばらく考え、“これをするんだった!”そのような日常の中で忍び寄る老化を、市民活動・社会活動へ心を傾けて行動することが、いきいきした老後生活を保つことかもしれない。

会員の皆さんも会活動+αで頑張っている姿を見ると、高齢者が高齢者を支える姿を理想と感じる。

☆取材を終えて…☆

高齢化が進む社会の中で支援を必要とする多くの声があります。多岐に亘るサービスで対応できないニーズを制度の枠組みを越えて、支援を行うふれあい推進員協議会さんの活動は、人に地域に寄り添いながら行われていました。また、活動時は支援される側はもちろん、支援する側の笑顔がキラキラ輝き、新発田に無くてはならない活動だと感じました。

毎年10月に開催しておりますボランティアフェスティバル
につきましては、次号に詳細を掲載いたします。



ボランティア連絡協議会で
新発田まつりに参加しました!

問い合わせ先(土・日・祝日を除く)

社会福祉法人 **新発田市社会福祉協議会**

〒957-0054 新発田市本町4-16-83
TEL 23-1000 FAX 26-3300 (ボランティアセンター内)



◆◆ 講座案内 ◆◆ 申込・お問い合わせ先／新発田市社会福祉協議会地域福祉課 TEL 23-1000

「知ったク! なっ得! ふくし講座」

- 場所／新発田市ボランティアセンター
- 定員／60名
- 受講料／無料
- 申込締切／10月23日(金)
- 携行品／筆記用具
- その他／初日は12時30分より受付。初日は動きやすい恰好
- 時間／いずれも13時～16時

開催日	テーマ／講師
11/6	介護が必要になっても我が家で暮らす技術と工夫 (県介護福祉士会)
11/13	自分らしい生き方と“もしも”のためにあしんハンドブック(エンディングノート)活用講座(NPO法人あいごの会)／遺品整理の現実～最期まで孤立しない地域づくり～(ダビマス新潟)
11/20	認知症高齢者との関わり方～介護家族として～ (鈴木絹英氏(NPO法人ホールファミリーケア協会理事長))
11/27	“在宅介護者のつらい”をはじめよう! ～がんばり過ぎていませんか?ひとりでは抱えていませんか?～ (河田瑠子氏(支え合いの仕組みづくりアドバイザー))

傾聴ボランティア講座

相手を尊重し、様々な思いに耳を傾けることで、相手の心の負担が少しでも軽くなるケア活動を行うボランティアの育成を目的に講座を開催します。

- 日時／11月19日(木) 午後1時～4時
- 場所／新発田市ボランティアセンター
- 定員／50名
- 受講料／無料
- 申込締切／11月10日(火)
- 携行品／筆記用具
- 講師／鈴木絹英氏(NPO法人ホールファミリーケア協会理事長)



鈴木絹英氏

若者就労支援サポート促進講演会

～生きづらさを抱える若者の「働く」と「働き続ける」を考える～

さまざまな理由から、生きづらさを抱えている若者やその家族が、支援機関の利用や就職活動に向かうきっかけを作るとともに、就労支援のためのネットワーク構築に向けた講演会を開催します。

日時：平成27年10月17日(土) 13:30～16:15
会場：生涯学習センター 講堂
入場料：無料
定員：300名
基調講演：株式会社安田組 会長 安田 光一氏



安田光一氏

講師プロフィール

長年、生きづらさを抱えた若者を積極的に雇用し、社会に出る機会を与える支援を行っている。「3年B組金八先生」(「腐ったミカン」と呼ばれた加藤優)のモデルとなった。

プログラム

時間	内容
13:30	開会
13:40	基調講演 「働く」ことの素晴らしさ～自分の居場所を求めて～ 株式会社安田組 会長 安田 光一氏
14:25	休憩
14:30	シンポジウム 生きづらさを抱える若者の「働く」と「働き続ける」を考える コーディネーター 敬和学園大学 講師 川本 健太郎氏 アドバイザー 株式会社安田組 会長 安田 光一氏 パネリスト ハローワーク新発田 新発田市 社会福祉課生活支援係 下越地域若者サポートステーション 障がい者就業・生活支援センター アシスト
16:15	閉会

◎ 善意の寄付 ◎

平成27年7～8月(敬称略・順不同)

一般寄付
三沢歌友会……………20,000円
匿名(5件)……………46,041円

寄付物品
(例)クサカベモーターズ……………タオル
涌井広作……………タオル、ポケットティッシュ、手提げ袋
新富町1丁目青少年育成会……………タオル、書き損じハガキ
岡田……………タオル、オムツ、入浴介護用いす

アルミ缶
東新町2丁目町内会……………川東中学校
新富町1丁目青少年育成会……………居城 愛美
小林 俊江……………速水 邦夫

幼児や子どもにも起こりやすい事故の予防と万一の時のために子どもの心肺蘇生法、応急手当や看病の仕方が学べます。

日時／11月7日(土)、8日(日) 午前9時～午後5時半
場所／新発田市ボランティアセンター
対象／15歳以上
定員／20名 ※先着順
受講料／1,800円
申込締切／10月29日(木)
その他／全時間出席者には「受講証」を、検定の合格者には「支援員養成認定証」を交付します。

「赤十字幼児安全法」支援員養成講習会



福祉センターからのご案内

浴槽整備のため

休館いたします。

10月5日(月)、13日(火)
11月2日(月)、9日(月)
16日(月)、24日(火)
30日(月)

●イベント開催のお知らせ●
日時／平成27年9月30日(水) 午後2時～2時30分
内容／おだまきの会様によるおどり

◆加治川総合福祉センターさくら苑◆

●10月から変わり湯の営業終了
時間が変更になります。
午前10時～午後5時
(最終受付 午後4時30分)

ありがとうございました

(株)ワゴードライ様
～毛布クリーニング奉仕活動～

市内16か所の福祉施設に707枚の毛布をクリーニングしていただきました。



10月1日から「赤い羽根共同募金」スタート

ご協力よろしくお願いします!

平成27年度一般募金目標額 **14,659,000円**

戸別募金
各世帯に
お願いする募金

法人募金
企業や団体に
お願いする募金

街頭募金
商店前やイベント
会場で行う募金

学校募金
小・中・高等学校の
児童や生徒が行う募金

職域募金
会社等の職場
で行う募金

皆さまからお寄せいただいた赤い羽根共同募金は、新発田市や新潟県内の地域や障がいをお持ちの方の福祉の充実のために役立てられています。

赤い羽根共同募金助成金交付式を行いました。

平成27年7月8日、新発田市ボランティアセンターにおいて、昨年市民のみなさまからご協力いただいた赤い羽根共同募金の助成金交付式が行われました。



○福祉団体39団体(総額12,365,660円)
助成を受けた団体名については当会のホームページに掲載しています。

元気玉プロジェクト

ふれ愛ワークキャンプ&Summer倶楽部ふくし 開催しました!!



車いす体験



障がい者スポーツ体験



貼り絵制作



車いすバスケット



新発田巡り

「福祉」って
楽しい!

地域のサロン

若いときから福祉に関心をもってもらおうと、夏休み期間を利用して、小学4年生から中学生を対象とした『ふれ愛ワークキャンプ』と、中学生以上の生徒・学生を対象とした『Summer倶楽部ふくし』を開催し、さまざまな福祉体験をとおりて福祉の楽しさを感じてもらいました。

～ご協力ありがとうございました～

24時間テレビ38
「愛は地球を救う」
新発田会場集計報告

募金総額 **305,709円**

イオンモール新発田にて8月22日、23日に募金活動を実施しました。